

年度:2019年 LOM番号:0000

【褒賞申請書】

事業名称	2月例会 米沢スノーパーク2019～遊・雪・yeah!～
カテゴリー	◎ 最優秀LOM地域社会向上プログラム部門

申請LOM	東北地区山形ブロック米沢青年会議所
LOMの人数	94名
理事長名	鹿俣 貴裕
担当者名	鶴巻 新太郎
担当者携帯番号	090-4550-5184 担当者E-Mail tsutumaki_daihai@yahoo.co.jp
事務局住所	米沢市アルカディア1丁目808-18 米沢商工会議所地域産業支援センター内
事務局TEL	0238-29-0336 事務局FAX 0238-28-7910

本事業の参加者	会員数	65名
	関係者数	
	一般参加者数	1,902名
事業実施に至る背景 400文字程度	地域の貴重な資源である雪は、雪国に住まう私たちにとって除雪・排雪等、冬の日常生活での障害にもなっています。一方、雪の降らない地域からの旅行者には雪は魅力的な観光資源となり得ます。我々は、地域の貴重な資源である雪をプラスに捉え、雪をより楽しく親しみ、雪国らしい魅力を創造し、地域の価値を高め、未来への明るいまちづくりをしていく必要があります。	
事業目的 400文字程度	対外目的 ・米沢市に住まう人々が雪の魅力を再発見・再認識し、雪国としての郷土愛を深めます。 ・地域外から訪れた人々へ雪国の魅力を発信し、再訪に繋がるファンをつくりま す。 対内目的 ・メンバー一丸となり事業にあたることでメンバー間の団結力を高め、絆を強固	

	<p>なものにします。</p> <p>・事業の中でメンバーも雪国の魅力を再認識・再発見し、今後のJC活動に活かします。</p>	
SDG'sの該当項目	<p>(SDG'sの該当項目を記載)</p> <p>SDGsのゴールとターゲット番号 <u>11・11.a</u></p>	
事業概要 400文字程度	<p>地域の貴重な資源でもある雪は、そこに住まう私たちの生活の障害にもなり、マイナスイメージを持ちがちです。観光資源でもある雪の利活用を進めることで、雪の付加価値を高めます。そこで、幅広い年代、グループ層が雪上で遊べる雪のテーマパークをつくり、雪の魅力の再認識を図るとともに、雪の降らない地域から訪れた観光客へも雪の魅力を発信します。</p>	
開催期間・ タイムスケジュール	<p>1日目 平成31年2月9日(土) ~1日目~</p> <p>8:45 登録開始 集合場所:米沢JC本部テント前</p> <p>9:15 開会セレモニー、趣旨説明、作業説明</p> <p>9:30 作業開始(各種準備)</p> <p>11:00 事業開始</p> <p>17:30 点灯式</p> <p>21:00 終了(委員会メンバーは、木灯籠消灯と後片づけの為21:30)</p> <p>2日目 平成31年2月10日(日) ~2日目~</p> <p>9:30 委員会メンバー集合 米沢JC本部テント前(大雪等あれば集合時間を早めます)</p> <p>10:00 メンバー集合 米沢JC本部テント前</p> <p>11:00 事業開始</p> <p>17:30 点灯開始</p> <p>21:00 終了予定・撤収作業・閉会セレモニー</p>	
開催場所	<p>おまつり広場(米沢市丸の内1丁目5)</p> <p>松が岬第2公園</p>	
事業区分	<p>継続</p>	
公益・共益区分	<p>公益事業</p>	
事業総予算・収支	<p>予算計: ¥946,000-</p> <p>支出計: ¥778,350-</p>	
協力団体	共催	上杉雪灯籠まつり実行委員会

	<p>協賛</p>	
	<p>後援</p>	
	<p>その他</p>	<p>興譲小学校・温泉米沢八湯会 うおぬま夏の雪まつり実行委員会</p>
<p>事業対象者</p>	<p>上杉雪灯籠まつりに参加される市民・町民、上杉雪灯籠まつりに訪れる来場者</p>	
<p>行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度</p>	<p>(事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業後の活動について記入) 上杉雪灯籠まつり実行委員会と協議を重ね、事業内容を決定する。メインのユニポートは新潟県・うおぬま夏の雪まつり実行委員会を訪ねて現地調査をし、かまくらは温泉米沢八湯会の指導のもと研修を行いました。その他絵画展示など興譲小学校との調整などを多岐にわたり繰り返しました。</p>	
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>(KPI: 米沢市からの来場者 1,004 名、99. 3%の方がより冬の米沢を好きになる 地域外からの来場者 1,136 名 99. 5%の方がまた冬の米沢に再訪したいと回答) (KPIの達成度についての検証) ・米沢市に住まう人々が雪の魅力を再発見・再認識し、雪国としての郷土愛を深めます。 雪に対するネガティブなイメージの回答が2割の中、99. 7%の方に雪の魅力を感じて頂き、99. 3%の方に冬の米沢をより好きになったとの回答を頂きました。本事業を通じて、雪国の魅力を再発見・再認識して頂いたことで沢山の来場者の笑顔を作ることができ、記憶に残るいい思い出となり、雪国としての郷土愛を深めることが出来ました。 ・地域外から訪れた人々へ雪国の魅力を発信し、再訪に繋がるファンをつくりま す。 アンケートの結果、99. 4%の方に雪のまち米沢の魅力を伝えることができ、99. 5%の方に冬の米沢市に再訪したいとの回答を頂きました。国の内外を問わずに、雪の降る地域からの来場者はもとより、雪の降らない地域からの来場者にも雪の米沢の魅力を発信し、感じて頂き、再訪に繋がるファンをつくる ことが出来ました。</p>	
<p>地域社会への影響 400文字程度</p>	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入) ・雪国の魅力を再発見・再認識して頂いたことで沢山の来場者の笑顔を作ることができ、記憶に残るいい思い出となり、雪国としての郷土愛を深めることが 出来ました。</p>	

	<p>・国の内外を問わずに、雪の降る地域からの来場者はもとより、雪の降らない地域からの来場者にも雪の米沢の魅力を発信し、感じて頂き、再訪に繋がるファンをつくることが出来ました。</p>
<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>例会後のアンケートの結果から「本事業を通じ、雪に対するプラスのイメージを持てた」との回答が72.9パーセントでした。</p> <p>雪国だからこそ、雪を活かすことが必要だという意識が芽生え、雪を活用したアトラクションでさらなる雪の魅力を発見し、子供から大人まで、沢山の笑顔をつくることが出来たからです。また、「本事業を通じ、メンバー間の結束が高まった」が80パーセント、「今後の例会に参加する意欲は増しましたか」は90パーセントとなり、時折雪のちらつく屋外での例会でしたが、多くのメンバーが協力し合い、様々な問題も起きましたが解決に動いていただいたことがこの結果に結びつきました。多くのメンバーが総動員で動いて頂いた為、事前準備から後片付けまでスムーズに終わられました。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業の期待される長期的な影響を記入)</p> <p>雪に対するマイナスイメージをプラスに転換できたことで、雪の積極的な利活用が進み、雪国らしい魅力を創造し、地域の価値が高まると考えます。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>長年、継続事業として参画している上杉雪灯籠まつりですが、次年度以降も積極的な雪の利活用を考えることで、雪国への郷土愛が深まると考えます。</p>
<p>改善点</p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>本年は、積雪量が少ない年でまつり全体の規模の縮小がありましたが、雪の運搬等を実行委員会にお願いし、必要最低限は確保しましたが、気象条件に左右される事業になるので、小雪時の検討もしっかりとすべきでした。</p>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p>
<p>添付資料</p>	<p>(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p>

PDF資料2MB、5ページ以内



メインアトラクション ユンボートの風景



かまぐら風景

<事業名>

公益社団法人 米沢青年会議所 2月例会
米沢スノーパーク2019～遊・雪・yeah!～

公益社団法人米沢青年会議所は2019年2月9日土曜日、2月10日(日)に「<米沢スノーパーク2019～遊・雪・yeah!～>」を<おまつり広場>にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この<米沢スノーパーク2019～遊・雪・yeah!～>は<雪国の魅力の発信>を目的として開催されました。<雪国をより好きになった、また冬の米沢に訪れたいとの回答が大半を占めた>という結果、目的を達成する事ができました。

<米沢スノーパーク2019～遊・雪・yeah!～>とは?

詳細な事業内容

期日：2019年2月9日・10日

会場：おまつり広場

(事業内内容) 地域の貴重な資源でもある雪は、そこに住まう私たちの生活の障害にもなり、マイナスイメージを持ちがちです。観光資源でもある雪の利活用を進めることで、雪の付加価値を高めます。そこで、幅広い年代、グループ層が雪上で遊べる雪のテーマパークをつくり、雪の魅力の再認識を図るとともに、雪の降らない地域から訪れた観光客へも雪の魅力を発信します。

写真 1



写真 2



写真 2



